

## 第4回東久留米市スポーツ健康都市宣言起草委員会 会議要録

### ■開催概要

【開催日時】	令和2年2月12日（水） 18:30～20:10
【場所】	東久留米市役所 庁議室
【出席者】	委員：井部委員、栗田委員、島崎委員、出張委員、仲俣委員、前田委員、山村委員 事務局：企画調整課長、他4名

### ■議事

#### 1. 開会

一事務局より開会の挨拶

#### 2. 都市宣言文の検討について

まず始めに、資料1について事務局より説明後、リード文に入りたいエッセンス及びリード文たたき台について意見交換を行った。

【委員】 “十分な睡眠を心がけます” は別の表現にした方が良いのではないかと。

【委員】 “言葉を越えたコミュニケーション” が世界のエッセンスとして入っているのは良いが、世界の方が地域よりも先に出てきているので、個人・地域・世界の順番で出てきた方が良いのではないかと。

【委員】 食に関する表現が入っていて良い。

【委員】 食・睡眠については表現を変えるか、フレーズに入れた方が良いのではないかと。

【委員】 “言葉を越えたコミュニケーションであるスポーツ” という表現ではスポーツの定義が限定されてしまうのではないかと。

【委員長】 区切らずに一文にした方が良いのではないかと。

[意見を反映したリード文（たたき台）]

水と緑豊かなこのまちに暮らす私たちは、彩り豊かな食生活と十分な睡眠を心がけ、スポーツという言葉を超えたコミュニケーションに親しみ、楽しむことで、いつまでも健康で活力に満ちた地域の実現を目指し、ここにスポーツ健康都市を宣言します。

【事務局】 リード文については、2月末を締め切りとして改めて意見がある委員より意見をもらい、次回、いただいた意見を反映したたたき台をお示しする。

次に、分類ごとに入りたいフレーズについて意見交換を行った。

[意見として出てきた分類ごとに入りたいフレーズ]

- ・分類1（仲間・つながり）：絆
- ・分類2（未来・夢）：豊かな心と体を育む
- ・分類3（笑顔・笑い）：笑顔が見える・笑顔があふれる
- ・分類4（楽しむ・親しむ）：自分らしく楽しむ

【委員】 子どもに対する愛情が伝わるフレーズが良い。

【委員】 子どもにとって分かりやすく柔らかいフレーズにすれば、子どもを大事にしているイメージになるのではないかと。

- 【委員長】リード文とフレーズはエッセンスが被らない方が良い。  
また、フレーズのパターンについても意見交換を行った。
- 【委員】子どもにも高齢者にも分かりやすいのでパターン3が良い。
- 【委員】フレーズを整えやすいのでパターン3が良い。
- 【委員】子どもにも分かりやすく柔らかい表現なのでパターン2か3が良い。
- 【委員】スポーツという言葉はリード文に入っているため、パターン1のように何度もスポーツを繰り返さない方が良い。
- 【委員】食や睡眠について、フレーズに入れた方が強調されて良いのではないか。
- 【委員】パターン3の場合、食や睡眠についてはフレーズに入れにくくなるので、リード文に入れた方が良い。
- 【委員長】食や睡眠についてはリード文に入れる方向で検討し、フレーズについては子どもから高齢者まで分かりやすいパターン3とする。
- 最後に、フレーズの先頭を書く共通するワードについて意見交換を行った。  
[意見として出てきたフレーズの先頭を書く共通するワード]
- ・みんながスポーツを楽しんで
  - ・みんながスポーツに親しんで
  - ・みんながスポーツにふれることで
- 【事務局】次回、フレーズについて意見を反映したたたき台をお示しする。

### 3. その他

―事務局より、第5回起草委員会の日程は令和2年4月17日18時30分からであることを改めて確認。

また、第6回起草委員会の日程についても確認。

→第6回の日程は調整の上、改めて確認するものとする。

―以上―